

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~8日	12月 ~13日	12月 ~20日	12月 ~27日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	55	30	21	19
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	18	14	6	14
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	1	0	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	5	3	0	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	3	0	3	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第52週(12月21日~12月27日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		3		1
三類	0	発生なし	0							
四類	5	E型肝炎	2					1		1
		つつが虫病	3					3		
五類	6	梅毒	2					1		1
		急性脳炎	2						2	
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2						1	1
指定	660	新型コロナウイルス感染症	660	59	32	16	2	463	39	49

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第52週に463件の報告があり、報告数の多い状況が続いています。外出機会を減らし、マスク着用、手洗いや手指消毒、「3密」の回避、身体的距離の確保、こまめな換気や室内の保湿などの対策を徹底しましょう。また、同居家族以外との会食を控えましょう。

発熱、咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)に連絡・相談しましょう。



新型コロナ感染拡大防止集中対策 実施中！！

令和2年12月12日(土)から広島県と広島市が連携して実施している集中対策は、1月17日(日)まで延長になりました。

詳細については、下記ホームページからご確認ください。

- ・広島県ホームページ 「新型コロナ感染拡大防止集中対策」の期間延長等
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-hiroshima.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	9.72			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.33		
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.37			眼科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.54		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	0.46	1.93				急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	感染性胃腸炎	67	2.79	9.44			流行性角結膜炎	2	0.25	0.60			
	水痘	8	0.33	0.62			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	14	0.58	0.29				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.52				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17		
	突発性発しん	6	0.25	0.35				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	17	0.71	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14			

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	132	男性(10歳未満)、女性(80歳代)、男性(90歳代)
4	E型肝炎	1	6	男性(60歳代)
4	つつが虫病	3	9	男性(60歳代)、女性(60歳代)、男性(80歳代)
5	梅毒	1	69	男性(30歳代)